



第42回東仙道地区文化祭

東仙道ちいき協議会設立より間もなく1年



東仙道では、平成26年12月に準備委員会を発足し、東仙道をより良い地域にしようとする自治会や活動団体から代表者が集まり、会議を重ねてきました。春も終わりを告げる平成30年4月22日、東仙道地区地域自治組織「東仙道ちいき協議会」(会長 草野和馬)を設立し、「助け合えん」「歴史や資源を守り、活かす」「元気なちいきを響かせん」「JCSOを【まちづくりSPLIN】の柱に活動しよう」という目標を掲げ、【まちづくり】の一年間の軌跡を振り返りました。

平成29年度まで、自治会連合会と公民館を含む各種団体とで運営してきた行事を引き継ぐ形で、6月「ケラウンド」イベント大会、8月「四つ山歴史ウォーキング」、9月「東仙道地区民・小学校・保育所連合運動会」、3月「東仙道地区文化祭」の4つが開催されました。各行事では、ちいき協議会の部会員が協力し、会の運営を行いました。

なかでも、運動会ではより多くの人に参加してもらおうと、新たに競技を新設し、鉄人レース(男性対象)・じゃま入れ(女性対象)を行いました。参加者も観客も楽しめる運動会づくりのお手伝いができたのではないかと思います。



○東仙道ちいき協議会設立より

間もなく1年・・・表紙・2ページ

- 美都町イベント情報・・・3ページ
- 近畿美都会総会・・・3ページ
- 柚子プリン「ふたかわ乙女」発売・・・3ページ
- 美都町空き家情報！・・・4ページ
- We are・・・4ページ

★ 美都町内空き家情報 ★

益田市は空き家バンク制度を創設し、空き家の情報を提供しています。この制度は、自分の持っている空き家を「貸し住宅にしてもいい」「売却してもいい」というお考えをお持ちの方（空き家住宅の所有者）、あるいは益田市での生活のために住宅を探している方（空き家の利用希望者）にその意思を登録していただき、空き家の有効活用を図るものです。空き家バンク制度を通して、益田市は都市住民との交流拡大及び定住促進による地域の活性化を目指しています。

現在、美都町内には3軒の空き家バンクの売買の登録物件があります。

美都町にUターンをお考えの方、田舎暮らしを考えている方、空き家を活用して事業を行いたい方は、一度検討してみてもはいかがでしょうか？

また、美都町にお住まいの方で空き家バンクに登録を検討している方もご相談ください。

定期的に全国各地で行われているしまねUターン相談会でもお伺いしていますので、お気軽にご参加ください。

詳しくは、益田市役所 人口拡大課 定住促進係 電話：0856-31-0173 まで

http://akiya.city.masuda.lg.jp/32204_akiya_bank/



美都町葛籠

【空き家】都茂地区 葛籠集落にある一軒家

売買価格 150万円 5LDK

※居住は可能ですが、お風呂等の改修が必要です（入居者負担）

http://akiya.city.masuda.lg.jp/32204_akiya_bank/content.php?id=186

We are...

Yショップ・JAしまねラーバン



美都町の中心部にある「JA生活センター・ラーバン」は、生鮮食料品から日用雑貨まで取り扱う地域唯一のお店であり、地域住民の生活を守る重要な存在です。特に、自家用車などの交通手段を持たない住民の方にとっては、いつでも気軽に食料品等の買い物に行ける、生活に無くてはならないお店となっています。

これまでJA島根からこの店の運営を委託され、地域のために頑張ってきた西田信二さんご夫婦が退任されることになり、平成30年10月から、新たに株式会社イトが運営を担うことになりました。株式会社イトは平成3年に美都町・農協・商工会・森林組合が中心となって設立された、地域活性化を使命とする第3セクターの会社です。現在は美都温泉「湯元館」をはじめとして、地域の活性化と住民の生活を守るための事業を幅広く展開しています。

安定的な品揃えと魅力的な店づくりを目指して、11月30日には「Yショップ・JAしまねラーバン」として改装し、新たなスタートを切りました。「商品売るだけの場ではなく、お客様との会話やふれあいを通じて地域を元気にする」ことを使命に掲げ、スタッフ一同明るい笑顔でお客様をお迎えしています。



★店舗情報★

Yショップ・JAしまねラーバン

〒698-0203 島根県益田市美都町都茂 1873-1

TEL 0856-52-3649

営業時間 平日 9:00~18:00

土曜日 9:00~13:00

定休日 日曜日・祝日



ふるさと会員への登録や、当情報誌についてのご意見やご要望、または、紹介したいモノや人、グループなどがございましたら是非お知らせください。なお、ふるさと会員の登録は無料です。お問合せ等は左記電話番号またはメールアドレス tiiki-m@city.masuda.lg.jp まで

担当：地域振興課



金谷城山桜まつり

美都での「桜と柚子のまちづくり」の掛け声がかかって30数年。桜のシンボルである城山桜(県指定)を中心にして、桜の会により植栽された桜は1万本を超えています。

今年も3月31日(日)に五穀豊穡を祝って、桜のふもと金谷集会所で桜まつりを開催します。当日は都茂子ども神楽団による石見神楽の奉納、実行委員会による飲食販売があります。



美都温泉まつり

毎年GW期間中の5月3日に美都温泉まつりを開催しています。石見神楽などの多彩なステージイベントだけではなく、美都のええもん(食事やおみやげ)の販売、二川の街中では古民家カフェやヤマメのつかみどりなどのイベントが開催されます。



神楽魂

5月26日(日)神楽魂が、ふれあいホールみとで開催されます。

神楽魂は、広島を中心とする社中が舞う「新舞」と、石見を中心とした社中が先人から受け継ぐ「神楽舞」の両方を鑑賞することが可能な神楽イベントになります。この事業は平成23年に始まり、今年で9回目を迎えます。今年度は広島から2社中、石見から3社中が予定され、合計6演目が舞われます。詳細は主催者が調整中ですが、是非ご期待ください。



美都ほたるまつり

ほたる観賞バス、ほたるウォーク、ステージイベント(神楽)、屋台村があります。

川のせせらぎとホテルの光を是非お楽しみ下さい。

日時: 6月15日(土) 18時30分

場所: 旧二川小学校体育館周辺



里の神楽

7月7日(日)ふれあいホールみとを会場に、里の神楽を開催します。この事業は、平成11年3月に始まり今年が20年目を迎えるものです。美都町には無形民俗文化財として、明治時代から続く丸茂神楽社中と三谷神楽社中が活動しながら後世を育てています。

今年度の演目は調整中ですが、長い歴史に恥じない見ごたえのある、そして先人からの舞を守り続ける神楽舞をお届けしますので、どうぞご期待ください。



仙道夜市

仙道夜市は、昭和58年の水害を忘れまいと毎年7月23日に東仙道地区でローソンボプラ美都仙道店駐車場にて開催されています。祭事は、村おこし社での例大祭、子供みこしが練り歩きます。他にも、地区の方による出店や露店もお楽しみいただけます。会場にはステージが設けられており、中学校吹奏楽部による演奏や、地域の方々による出し物、よさこい、地元三谷神楽社中による神楽があります。懐かしい顔に会いに、是非お越しください。



★第25回近畿美都会総会のお知らせ★

毎回100名以上のご参加をいただき、盛大に開催しています。懐かしい方言も入り交じる会話が弾み、約2時間30分の神楽舞を十分に堪能できます。お気軽にお問合せください。近畿美都会ご登録者には、毎年、開催案内を郵送させていただきます。美都町出身者に限らず、お知り合いの方に広くお伝えいただければ幸いです。(年会費無料)

日時: 2019年6月16日(第3日曜日) 11:00~15:00

場所: ニューオーサカホテル 大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10

連絡先: 近畿美都会代表 加治 三男 TEL 0743-57-3195



柚子プリン「ふたかわ乙女」発売



美都の特産「柚子」を使ったプリン。フタを開けると柚子がかり、食べるとスッキリした甘さ。男性にも人気の柚子プリンが出来ました。「ふたかわ乙女」の名のような「蓬の会」^{よもぎ}メンバーで毎週金曜日に温泉よこ「あったか市」、「道の駅サンエイト美都」に1個200円で販売しています。ぜひご賞味ください。



「いちいき協議会」ならではの取り組みとして「助け合える」活動では、平成28年度(まだいちいき協議会が設立準備会だった頃)に結成された東仙道お助け隊が、地区内の草刈等が困難な高齢者の支援を行っていきます。平成30年度は14件の利用がありました(2月現在)。利用者の方からは、次回もまた利用したいという声が多く上がっています。今後、高齢者の困りごとの解決なども含め、随時協議し、活動していきます。

「歴史や資源を守り、活かす」活動では、平成30年7月23日に行われた仙道夜市において、子ども会と連携し、「いちごかき氷」を販売しました。このかき氷は、子ども会が5月中旬の収穫期の終わりに(旬アグリ)のいちご園にて収穫

・冷凍したものを利用しました。イチゴをそのままかき氷にして練乳をたっぷりかけたものは、とても好評で仙道夜市では120食販売しました。特産のいちごを活用す仙道の新たな魅力を発信でき、地域のつながりを深めることが出来ました。



いちごかき氷

他にも、恒例となりましたらららとカレンダーは、地区内の昔の写真(主に昭和30〜40年)を多数掲載し、3月に発行され地区内に配布しました。ご覧いただいた地区内外の皆さんより、たくさん懐かしむ声をいただきました。子どもたちからは「仙道の昔の様子がよくわかる!」、年配の方からは「知の口にも渡したい!」と好評で、公民館までお友達の分を取りに来られる方もおられました。平成31年度も配布しますので楽しみにして頂けたらと思います。

「元気いちいき暮らし」活動では、平成30年度から東仙道寺子屋を開始しました。この寺子屋は小学生が放課後に学校の空き教室を利用し、宿題をみんなであって帰るという活動です。学校のある日は、ほぼ毎日行われ、東仙道小の児童の約70%の参加があります。長期休みには公民館で自主勉強会を開催していますが、まだ回数が少なく参加する子どももまちまちです。子どもたちに寺子屋が定着し参加者を増やしていけると良いなあと感じます。寺子屋の見守りは、地域のボランティアが当番制で行っており、現在18名が登録されています。



子どもたちの成長を見守っていきけるように、地域の方が活動に参加することで、取り組みが継続出来たらと思います。

いずれの活動でも、地域の資源を様々な世代で見直し、それを基に活用し交流する一助となれば、ますます活発な東仙道になれるのではないかと考えます。今後、東仙道が元気な地域として存続するよう、「いちいき協議会」が主体となって活動していきますのでぜひご協力をお願いします。

(東仙道いちいき協議会事務局)

